

1. 日 時：平成26年3月18日（水）14:00～16:00

2. 場 所：北海道庁7階 農政部第1中会議室

3. 出席者：清水委員長、樋元委員、勝浦委員、石川委員、浜舘委員、三好委員

4. 概要

【要旨】

- ・北海道から、資料1により25年度の取組実績について、資料2-1、2-2により道産食品独自認証制度の認知度について報告。
- ・北海道から、資料3により道産食品独自認証制度の点検結果について報告後、意見交換。
- ・北海道から、資料4により26年度の取組予定について説明後、意見交換。

【北海道からの資料説明に対する委員等の主な発言】

- ・認証品数を増やすことと、もっと商品を買ってもらえるようにすること。量目を変える等の対応ができないのか。新たな品目も検討することが必要。制度を普及するためには、例えばきりりっぴ商品の詰め合わせ売り出す等、効果的なPRが重要。
- ・消費者のニーズに応じた対応が重要。そのあたりの対応ができれば制度が浸透する。
- ・美味しくなくては次につながらない。売れ筋のものを大きく展開することや、きりりっぴ商品をまとめて置く、詰め合わせ商品の取組で認知度が広まるのでは。
- ・PRの場の感触はいかがか。
→バイヤーはきりりっぴ商品を知っているようだが、販売に結び付いてるかは不明。
- ・菓子を新たな品目として加えたらとの話もあったが、いかがか。
→チョコレート等の取り扱いなど、登録には様々な検討が必要。
- ・26年度は認証事業者の意見交換の場を設けるよう工夫願いたい。